

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	からしだね		
○保護者評価実施期間	2025年1月29日 ～ 2025年2月12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年1月29日 ～ 2025年2月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員以外の人との交流	地域社会とは離れている（500m以内に住宅はない）ので地域の人々との交流は望めないが、同一敷地内には教会を含む高齢者デイサービスから保育園まであるので、この人的環境を生かして子ども達の成長に繋げる支援を行う。	特別な計画をするのではなく、さまざまな人々とのごく自然な出会いの中で育まれ日常から生まれる成長体験を積み上げる喜びをともに味わう。
2			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない子どもとの交流	特別支援学校に通学しているので、家族以外では障がいのない人と交流する機会が少ない。	同一法人が同じ敷地内で運営する森の学園（小学生、中学生）の生徒を招いてのお誕生会等の行事を企画し、教会学校の行事への参加を促しさらに広い交流の機会を設ける。
2	保護者同士の連携	送迎で来られる保護者との会話では、信頼関係に基づく十分な意思疎通や援助をとることが出来ない。	子ども達が企画する長期的休みのオープンハウスに保護者を招待したり、月1回土曜日にオープンハウスを開催し相互の情報交換と先輩に経験を聞く機会を設ける。
3	活動スペース	施設内でしか活動をしなない日々の歩みであると社会性を育む経験を積み重ねることが出来なく、将来困ることが起きてくる。	同一敷地内のマナ愛児園や森の学園の子ども達とグラウンドや畑で交流したり、隣接するイオンモール土浦への買い物等を通して社会性を育む機会を設ける。